

県政かわら版

1~2面 日ごろの備えが自分を守る!!

3面 感染症を予防しよう/鹿児島からもっと海外へ

4面 情報ボックス/特産品プレゼント

日ごろの備えが自分を守る!!

~家族や地域で防災について考えよう~



平成24年6月の梅雨前線豪雨による土砂災害(肝属郡肝付町垂水地区)

集中豪雨、火山噴火、地震、津波などは、いつ、どこで起こるかわかりません。そのため、県民一人ひとりが災害に対する知識を身につけ、意識を高めるとともに、地域住民が互いに協力し、助け合うことが重要です。危険箇所の点検や訓練、研修など、日ごろからできる防災対策に取り組みしましょう。

自分や家族でできる日ごろからの備え

非常持出品を用意しよう

大規模災害時に備えて、3日分程度の食料・飲料水や携帯ラジオ、懐中電灯などの非常持出品を用意しておきましょう。



危険箇所を知ろう

災害時には、思いがけない場所が危険箇所となり得るため、日ごろから地域のことを確認しておきましょう。



家族で話し合おう

災害時の役割分担、避難場所、連絡方法などを事前に話し合っておきましょう。



自主防災組織に参加しよう

自分たちの地域は自分たちで守るという活動に積極的に参加、協力するようにしましょう。



訓練や研修に参加しよう

地域や県、市町村が行う訓練・研修に積極的に参加して、防災に関する知識を習得するようにしましょう。



早めの避難を心がけよう

雨風が強くなる前、暗くなる前に、地域の人たちと協力し、早めの避難を心がけましょう。



防災研修センターをご利用ください

映像や模型などを使って鹿児島県の災害への備えなどをわかりやすく解説しており、自由に見学できます。また、応急処置の体験訓練、防災マップづくりなどに関する体験研修を行っています。ご家族、学校、PTA、町内会、職場などでお気軽にご利用ください。※見学、体験研修ともに無料です。(体験研修は事前予約が必要です。)



●お申し込み・お問い合わせ
県防災研修センター
鹿児島県始良市平松6252番地
☎0995(64)5251 FAX 0995(66)5909
ホームページ <http://www.kagoshimabousai.jp/>

地域や自主防災組織での備え

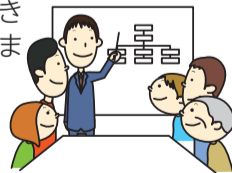
防災マップを作ろう

地域の防災マップを作成して、災害時の地域の弱点を知り、避難の際に活用しましょう。



連絡網を作ろう

災害時に支援が必要な人にも、災害に関する情報が確実に伝達できる体制を作りましょう。



避難体制を作ろう

隣近所の住民への声かけなど地域ぐるみの避難体制を作りましょう。



訓練や研修を行おう

地域住民が参加する防災訓練や研修を積極的に行い、防災意識の高揚と知識の習得・共有を図りましょう。



災害時の活動

災害応急対策を行おう

隣近所の人など地域の人が協力して、初期消火や救助などの応急対策を行いましょう。



みんなで協力

協力して避難しよう

高齢者や子ども、障害者、疾病者など災害時の避難に支援が必要な人を地域の人たちで支え合って、避難しましょう。



地域で支え合い

自主防災組織って?

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えに基づいて、自主的に防災活動を行う組織です。自治会、町内会または小学校区単位などで結成され、訓練などの活動を通して地域の防災力を高め、災害時には地域の人がお互いに助け合うことで被害をより少なくすることにつながります。